

2015年(平成27年)11月5日 No.673

第3四半期決算短信

当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益は過去最高水準に迫る勢いであり、これに伴い所得環境が緩やかに改善し、個人消費は底堅い動きを示しました。また雇用環境も有効求人倍率の上昇や失業率の低下に伴い向上いたしました。

その一方で海外に目を向けると、中国の景気減速をきっかけとした新興国経済の失速に伴い、先行きに不透明感が強まりました。企業においては輸出や機械受注、機械稼働率等が下振れしていることから、新規設備投資に対し慎重になるなど、海外からの景気減速の流れが今後日本に波及する可能性に対し、警戒感を持ち始めている情勢であります。

このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 新たなステージへ For the Next Stage」をテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,123百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は1,646百万円(同9.7%増)、経常利益は1,877百万円(同11.8%増)、四半期純利益は1,146百万円(同19.8%増)となりました。

【産業機械】売上高は31,771百万円(前年同期比14.4%増) 営業利益は1,976百万円(同8.8%増)

【建設機械】売上高は6,308百万円(前年同期比10.4%増) 営業利益は274百万円(同12.5%減)

【その他】売上高は44百万円(前年同期比20.0%増) 営業利益は25百万円(同35.0%増)

平成27年11月期第3四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

連結経営成績(累計)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
27年11月期第3四半期	38,123 百万円	13.7%	1,646 百万円	9.7%	1,877 百万円	11.8%
26年11月期第3四半期	33,530 百万円	△ 2.9%	1,500 百万円	△ 8.2%	1,678 百万円	△ 13.1%

	四半期純利益		1株当たり四半期純利益	
27年11月期第3四半期	1,146 百万円	19.8%	129 円	24 銭
26年11月期第3四半期	957 百万円	△ 11.0%	105 円	59 銭

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率

今月のことば

乾 相談役

○ 過信せず謙虚であれ

仕事で新しいことに挑戦する際は、自信を持って取り組むことが必要だが、自信と過信とは大きく異なる。成功すれば自分の力、失敗すれば他人の落ち度と、自らを反省しない姿勢は、自分自身を過信し自己中心の発想で、ものごとを判断している。失敗の原因を自分は正しいけれど、メーカーが協力しない、ユーザーが理解してくれない、景気の状態が悪い等と自分以外のせいにする人は、本当の原因が分からず、改善をしないから成長もしない。過信に陥れば、自分がベストであるという固定観念が、視野を狭くし聞く耳をふさぐことから、自分で自分の成長を止める結果になる。先方や周囲の人々の立場を考えて、ものごとを判断すれば、一番大切なものが何か見えるし、真のニーズや問題解決の糸口を見つけることが出来る。

過信せず謙虚に反省することが大切である。決して自分を過信することなく、広い視野で様々な意見に耳を傾ける様に心掛けよう。至る所に師あり。

○ 強弱と業績

世界経済の雲行きが怪しくなってきた。中国の経済成長に一時の勢いがなくなり、新興国の経済にもかげりが出て来ている。日本経済も世界経済の影響を受け、株式市場が大きく変動している。

大きく変化する経済状況の中で、生き残っていくためには改革を重ねて「強い企業」にならなければならない。強い企業(部)は、好況時にどこよりも業績の回復が早く、平均より高い率で業績を上げている。反対に弱い企業(部)は、景気が後退すると業績が落ち込み、下げ幅も大きい。

日頃より計画に沿って地道で忠実に実行しているところは、余り目立たないけれど営業基盤の強化が進んでいる。スポットばかりに頼っているところは、業績が不安定である。

「強い企業」は、営業基盤であるユーザーとの関係(ユーザーの数、親密な取引関係、豊富な人脈等)の質量の充実が強さの源泉である。「強い営業基盤」を作り上げるためにも、営業の基本「創る・伸ばす・守る」を常に意識した営業活動に徹していこう。知恵も出さず、汗も

かかず、良いことが永続することはあり得ない。

○ 自分に厳しく

上司は自分が出来ないことを棚に上げて、部下に何故出来なかったのかと厳しく問い詰めては、部下は決して育たない。かつて山本五十六元帥は「やってみせ 言って聞かせて させてみせ ほめてやらねば 人は動かじ」と部下を指導する心構えを述べている。自分の苦手なこと、嫌なことを部下に押し付けるだけでは、人は付いて来ないし上司としては無責任である。

上司の力量は、部下の能力に合った仕事のやり方や働きやすい仕組みを考えて、自らが率先垂範して示せるかであり、それによって部下から信頼され、部下も成長する。日頃から自分自身の精進に励み、部下から信頼される上司になろう。

○ 誠実は力なり

良い関係を築くためには多くの時間を必要とするが、関係を壊すには一瞬で充分である。今日取引いただいている会社は、自動的に取引が出来た訳ではない。今日の取引関係は、先輩方の努力の結晶であり、長期間に亘る人間関係の積み重ねの結果である。過去の先輩方が築き上げてきた基礎の上に、現在があることを決して忘れてはならない。

築きあげた取引関係は、重要な財産である。この財産は自分のものではない。会社からの預かりものであり、他人からの預かりものである。他人からの預かりものは、自分のもの以上に大切に取り扱いなければいけないと教えられてきた。引合いが無いからとか、先方の担当者との交渉が難しいから、と言って訪問しなかった結果、商談に参画できず取引関係が途切れることは、会社にとって大きなマイナスである。担当者交替の際に、引継ぎをする者も受ける者も、引継ぎの重要性に強い認識がなければ、今まで通りの取引を維持することはできない。事務的に終わる引継ぎは極めて無責任である。

良好な取引関係、信頼関係を築くには、長期に亘る努力が必要だが、不誠実があれば即壊れてしまう。誠実な取引関係を築き、長く深いお付き合いを続けることで、預かっている財産を更に大きくする様、心掛けよう。

マルカの動き

10月

動き

- 10月 1日：2016年新卒者内定式
 10月 5日：第3四半期決算発表
 10月22日：本社35歳未満対象定期健康診断

新入社

- 谷口 友哉 建機輸出部 課長
 木内 佳美 東京建設機械部業務
 (10月1日付)

ご冥福をお祈りいたします

- ジャパンレンタル(株) フロント課 課長
 平成27年10月4日逝去 渡邊 直樹様(享年45歳)

竹下社長がラジオNIKKEIの番組放送に出演いたしました

当社竹下社長が出演されたラジオNIKKEIの番組が下記の通り放送されました。番組HPのインターネットURLにて、オンデマンドで番組内容をお聞きいただけます。皆さまにお知らせいたします。

- 番組名：マーケットプレス内の、
 「東証+YOU～マーケットから日本を元気に」
 放送日：2015年10月14日(水)
 午前11時10分 ～ 約15分
 放送媒体：☆ラジオNIKKEI
 ☆IPサイマルラジオ『radiko』
 ☆番組HPよりインターネットのオンデマンド
<http://market.radionikkei.jp/plusyou/>
 出演者：竹下 敏章 当社代表取締役社長
 ・インタビュアー
 和島 英樹氏
 (ラジオNIKKEI 編成制作局解説委員)
 内田まさみ氏(アナウンサー)

表彰

- ◆ 殊勲賞
 東北支店 支店長 小関 徹
 東京産業機械第二部第二課 課長 安藤 幹雄
 大阪産業機械第二部第二課 課長 坂口 光夫



(写真左より内田アナウンサー、当社竹下社長、和島解説委員)

番組内容：企業のトップインタビュー
 日本産業界の未来を幅広くお話しています。



アジア NOW 2015年 11月

		タイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	台湾	上海	備考
GDP成長率 (%)	2014年	2.0%	5.1%	4.6%	6.4%	3.4%	7.4%	推定値
	2015年	4.5%	5.2%	6.2%	6.7%	3.5%	6.5%	予測値
物価上昇率 (%)	2014年	2.1%	6.0%	3.5%	4.8%	1.4%	1.1%	推定値
	2015年	2.4%	5.0%	3.5%	4.9%	0.9%	2.4%	予測値
為替相場 (対米ドル)	15/ 8/10	B35.26	Rp13,331	M\$4.20	P45.75	NT\$31.80	RMB6.410	1\$=124.43円
	15/ 9/10	B36.19	Rp13,225	M\$4.20	P46.85	NT\$32.80	RMB6.370	1\$=120.24円
	15/10/10	B35.83	Rp13,680	M\$4.25	P45.87	NT\$32.40	RMB6.350	1\$=119.99円
	今後の傾向	↘	↘	→	→	↘	↘	
短期金利		1.50%	7.50%	6.25%	4.13%	4.00%	4.85%	
	今後の傾向	→	→	→	→	↘	→	
失業率		0.80%	6.10%	3.10%	6.50%	3.90%	4.50%	
マルカ駐在員からのコメント	タイ工業連盟(FTI)自動車部会は10月14日、9月の国内自動車生産が前年同月比4.4%増の17万1496台だったと発表した。前年同月比で3か月連続のプラスとなり、前月比でも7.5%増加した。一方、オートバイ生産は、前年同月比1.9%減の19万2539台だった。前年比マイナスは6か月連続。前月比では9.6%増加した。国内景気低迷の影響をものに受けており、農産品の価格下落に伴う消費者の購買力低下のほか、家計債務の膨張を背景に、金融機関が自動車ローンの引き締めを図っていることが販売不振の要因という。	インドネシア首都ジャカルタ特別州では、2016年の州最低賃金に関し、政労使3者で構成する賃金審議会が27日に合意する見通しとなった。合意額は同州のバスキ知事に提案され、同知事が正式決定する。賃金審議会ではこれまでに、最低賃金の算定基準となる生活費基準「適正生活需要(KHL)」を前年比14.2%増の月額298万ルピアとすることで合意した。ジャカルタでは11年以降5年連続で州最低賃金が前年比2桁の上昇率を記録。16年についても例年並みに最低賃金が引き上げられる見込みとなっており、経済環境への悪影響が懸念されている。	マレーシアではヘイズ(煙害)が再び悪化している。各地で大気汚染指数(API)で「不健康」レベルを記録しており、各地で学校閉鎖や空港閉鎖などの影響が出ている。19日午後1時の時点で、最も大気汚染指数が高かったのは、ネグリ・セラン州セランバンで「不健康」レベルの198となった。首都圏においてもクアラルンプールのバトゥムダで164、セランゴール州バンテンで164となっている。その他、ジョホール、マラッカ、ペラ、サバ、トレンガヌ4州及び、プトラジャヤでも「不健康」レベルの地域が出ている。	日系メーカーに台湾系キムコを加えた自動二輪開発計画参加社協会加盟5社の1~9月の新車販売台数は前年同期比4%増の59万7,191台だった。市場は伸び悩んでいるが、高価格で個人ユーザーの購入が多いAT車の販売が好調だ。AT車は同30%増の12万1386台だった。中でもヤマハ・モーター・フィリピンは40%超の伸び率を示し、AT車の市場シェアで69%を占めた。各社の販売シェアはホンダが44%、ヤマハが21%、カワサキ・フィリピンが19%、スズキ・フィリピンが14%、キムコが2%だった。	交通部観光局の「台湾観光バス」は外国人観光客の増加に伴い、バス運営事業者を通じ、中国語、英語、日本語、韓国語の音声ガイドサービスを導入する。また、スマートモバイルデバイスの普及に対応するため、無線LANサービスも無料で提供、旅客はどこにいても交流サイトなどでチェックインができる。旅行社26社と提携するバスサービスは、これまでの86コースから103コースに路線を増やし、台湾全土を観光することができるようにしている。	中国国家統計局は、今年第3四半期(7~9月)の実質国内総生産(GDP、速報値)の成長率が前年同期比6.9%だったと発表した。中国の四半期ごとのGDPの成長率が7%を下回るのは6年半ぶりである。原因としては、不動産向け投資の伸び悩みや貿易の不振などが影響した。中央政府は経済の成長速度よりも構造改革を優先する姿勢を示しており、成長率6.9%は想定範囲内と考えている。第4四半期(10~12月)も政府による景気の下支えが続くものとみられ、通年目標の「7%前後」を達成する可能性は高い。		

2015年度マルカ・タイ社 マルカ・エクスポート社合同社員旅行記

マルカ・タイ社は9月19日～21日に二泊三日の社内旅行を実施しました。今回の旅先はタイの最西、カンチャナブリー県です。タイは雨季に入りましたので、雨を心配しましたが、三日間快晴だったのでよかったです。カンチャナブリー県は、第2次世界大戦中につくられたタイとビルマを繋ぐ鉄道「泰緬鉄道」、「クウェー川鉄橋」や戦争博物館の他、自然観光地として有名な「エラワン滝」がありますが、私が一番珍しいと感じたのはフローティングヴィラタイリゾートです。理由は宿泊する建物が水面に浮かんでいるので、揺ら揺らと動くのです。

一日目は、泰緬鉄道の中で最も危険な建設現場と呼ばれた「カセアー洞」を通る列車に乗りました。断崖に沿うように建設された木橋の上を列車がゆっくりと進むのですが、木橋の下を流れる大川と雄大な山々の景色が最高でした。宿泊先は、もちろん湖の中にあるフローティングヴィラタイリゾートで、素敵な雰囲気でした。ボートや水泳等水遊びができます。ヴィラの上でビールを飲んで、のんびりして日頃の仕事の忙しさを忘れて解放されました。



(映画「戦場にかける橋」の舞台となったクウェー川橋にて)

2日目の夜は、ディナー兼パーティーがありピントンスタッフを含めた日本人、タイ人、新入社員と一緒にゲーム、カラオケ、ダンスを楽しみました。日頃、自分達の仕事で忙しく社員同士の交流が少ないのですが、今回の旅行のおかげで、お互い慣れ親しむことができました。来年の社員旅行を楽しみに、仕事に励んでいきたいと思えます。

2013年8月入社 秘書&通訳

タララット チャンセム (ニックネーム:ナムワーン)

マルカ広州が納税信用A級評価企業認定を受けました

中国現地法人の広州丸嘉貿易有限公司が、広州市国家税務局より納税信用A級の評価を受けました。

納税信用A級企業というのは国家税務局より、納税企業の社会的信用度を認められた企業です。

今後も、私達は各国法令を遵守し、納税の義務を法に沿った形で果たし、広く社会から信頼される会社として発展できるように日々研鑽を積んで参ります。

中国現地法人廣州丸嘉貿易有限公司获得了广州市国家税局颁发的纳税信用A级证书。

纳税信用A级的企业就是指获得国家税务局承认的纳税企业社会诚信度。

今后，我们也将每日积极进取，努力发展成为遵守各国法律、认真执行纳税义务、得到社会的广泛信任的公司。



(写真右・財務課・王君、左・孔春艶会計士)



東南アジア・インド統括副本部長
マルカインドネシア社長

三好 辰夫

今回で3度目の駐在になり、タイ駐在を含め11年の海外生活です。インドネシア駐在は、1度目は98年通貨危機によるスハルト政権崩壊、2度目は08年のリーマンショックそして今回の世界同時株安及び98年以来となるルピア安の状況です。数年前から労働者の賃金が毎年20~40%高騰しており、裕福層以外の中間所得層が車を購入できるようになり13年には123万台の販売をしました。14年は120万台、そして今年は95~97万台の予想です。専門家によると購入意欲はあるのだが、景気低迷による購入の延期を考えているとの事。4輪メーカーも16、17年には新車投入、モデルチェンジを計

画しており購入意欲の後押しになればと思います。そのような中でも数年前に進出したユーザー様は、本年度からマスプロに入っており多忙を極めています。また輸出主体の企業様も好調です。

景気の悪い中でも一部の企業様は、設備を検討されています。また前回駐在時にはあまりなかった事ですが、日本食はインドネシアの方に大変人気があり大勢の方が食事を摂られるようになってきていることです。農機関連ユーザー様、食品関連ユーザー様を今後注力して訪問したいと考えます。ユーザー様、メーカー様もそうですが、このような時期だからこそ新規開拓、新市場開拓に注力し数年後には+αになるように考働していきたいと思ひます。

マルカインドネシア社には日本人6名の内1名のメンテナンス要員及びMM会様から営業兼メンテナンスが3名駐在していただき、予防保全、突発事故に対応させていただいています。インドネシアに進出をご検討されているユーザー様には、設備及び機材に関しては是非ともマルカキカイにご用命をお願い致します。

第4回マルカカップ開催



10月18日(日)、観光ベストシーズンの秋を迎えたベトナム・ハノイの「ヘロンレイクゴルフコース」にて、マルカベトナム社主催のゴルフコンペを開催しました。

ベトナムに工場を構えておられる弊社顧客21名様、機械メーカー3名様と、マルカキカイ本社から二橋常務、マルカタイ社からは真鍋統括副本部長にも参加頂き、総勢



7組27名様にご参加いただきました。

秋晴れにしては暑過ぎる天気の中、優勝トロフィーを賭けた熱戦が繰り広げられ、表彰式も大いに盛り上がりました。お客様、機械メーカー様と垣根を越えた楽しい一日を過ごすことができました。

マルカベトナム社長 富田昌孝

2016年新卒者 内定式

10月1日に2016年新卒者の内定式を執り行いました。内定者は総合職8名・一般職2名の計10名です。

冒頭、竹下社長は「Think Different」(異なる発想に挑戦する)を贈る言葉と挨拶がありました。

「来年はマルカキカイにとって創立70周年となる節目の年であり、みなさんは記念すべき年の新入社員です。

創立35周年に田中氏が出版した著作「誠心は力なり」の中に「創意無限」という一節があります。近年は世の中の変化が非常に早いですが、これに遅れることなく、一歩先んずる為には「創意工夫」が鍵である。これは社歌にも織り込まれているマルカ精神の柱です。世間では「周囲の人と同じ行動、今までと同じ行動をするのが一番無難である。」という話を聞きますが、「創意工夫」とは真逆の考え方です。

入社に向けてのみなさんには「創意工夫」に通じる「Think Different」(ものごとに対して、多方面からいろいろな発想をすること)を身に付けて頂きたいです。」と、



内定者へ厳しくも、期待を持った言葉を送り、締めくくりました。内定者は緊張した面持ちではありましたが、それぞれが入社までに取り組むことや入社後の抱負などの自己紹介を行いました。

入社まで残り半年ですが、様々なことにチャレンジをして、来年4月の入社式には全員が元気な姿で再会できることを願います。

・『販売管理規程』・『安全保障輸出管理規程』 についての研修会を実施

8月～10月にかけて、本社と各支店・営業所にて業務部と海外統括室による研修会を実施しました。

一部上場企業としてコンプライアンス遵守につとめるべく部長以下多数の社員が出席しました。

販売管理規程を主な研修資料とし、講師と出席者との質疑応答形式にて商売の各プロセス(見積→販売稟議→受発注→売上仕入→回収支払)に於ける留意点を互いに研究し、理解を深め合う充実した研修内容となりました。また、安全保障輸出管理では、輸出管理マニュアルを使用して該当機の「所在確認」の大切さを社内確認し合いました。



両規程についての研修会は、今後も社員教育の一環として定期的実施していき、社員一丸となって、更なるコンプライアンス遵守の意識向上を目指します。

本社・東京支社で防災訓練を実施致しました

10月8日(木)に東京支社、テナント様合同の「震災避難訓練」、10月21日(水)に本社ビル避難訓練を行いました。どちらも避難訓練の後、AED(心臓救命装置)の使い方を学び、胸骨圧迫の実践訓練を行いました。平日の業務時間内での実施でしたが、多数の方に参加いただいたの実施となりました。

中でも胸骨圧迫は、1人での実践は難しく、交代で行う場合の訓練も行うなどして、同僚・知人・友人などの周りの人を自分で助けることの難しさを痛感した訓練となりました。

リスクマネジメントの一環として、来年以降も課題の改善をしながら防災訓練は引き続き行っていきます。



(東京支社 日本橋消防署様からのAED使用訓練中)

(本社 SHAKEOUT訓練中)

※2人で交替するAED胸骨圧迫動画を社内HP→社内情報に掲載していますので訓練に参加できなかった方は視聴願います。

首都直下地震及び南海トラフ地震に対応した代替輸送訓練(図上訓練)への参加

10月19日(月)名古屋商工会議所にて、北陸地域国際物流戦略チーム(北陸地方整備局・北陸信越運輸局)と特定非営利活動法人危機管理対策機構との主催による代替輸送合同訓練(図上訓練)に、中部支社から栗栖部長、本社から坂口課長、丸山課長、角社員の営業部門と総務部から後藤課長が参加いたしました。

訓練シナリオの狙いは、参加者総勢100名(輸出・輸入荷主・港運業者・港湾管理者)で、国内アッセンブル部品を中国に送り、アッセンブルされた部品ASSYを日本に輸入し、機械を完成させることでした。

当社参加メンバーの役割は、輸出荷主、電子部品メーカーの立場で、本社工場(愛知県)、協力工場(茨城県)から中国に空輸と船便にて部品代替ルートを決定し、進行役から次々にだされる(起こってくる)問題に対応しながら、被災側の陸運会社・船会社、港湾管理役に状況を確認し、実際の代替輸送手順を踏み課題を解決していくことでした。

今回の模擬災害体験演習での最大の成果物と気付きは、情報ポータルサイト(港湾・道路・コンテナ情報・掲示板)から競合先と協働で陸送便とコンテナを共同で使うことで海上運賃の軽減を図れ、サプライチェーンの責務



(実際に競合先へ連絡している様子)

を達成できたことでした。発災後はインフラ問題やガソリン不足が想定されますが、訓練を受けていないと考え付かない着想だったと思います。

BCP/BCMをやればやるほど、単独でのBC(事業継続)が困難であり、「情報共有」「お互い様」の視点とアクションがないと難しいことが体感として理解できました。現実の課題には長期的な問題もありますが、問題解決の選択幅が広がれることが疑似体験で分かったことは今後の糧になると思います。当社は来年以降も継続的に営業、業務、管理部門を交えた訓練の参加を通しBCスキルの底上げを図っていききたいと思います。